

- 問1 北海道北端の稚内付近における、夏季の日照時間と周辺の海流の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。なお、この地域では5月から6月にかけて日照時間がピークを迎え、全体として夏季の日照時間が長くなる傾向があります。 (2021年 兵庫県公立入試 類似)
1. 季節風を遮る高い山脈の影響でフェーン現象が発生しやすく、暖流のリマン海流の影響で夏季は乾燥した晴天が続く。
 2. 低緯度に位置するため太陽の高度が常に高く、太平洋沿岸を北上する日本海流（黒潮）が湿った空気を運んでいる。
 3. 寒流である千島海流（親潮）の影響で夏季に大規模な濃霧が発生するため、高緯度であっても日照時間は極めて短くなる。
 4. 高緯度に位置するため夏季の昼の時間が長く、日本海沿岸を北上する対馬海流が地域の気候に影響を与えている。
- 問2 日本の地理に関連して、北海道の知床や鹿児島県の屋久島は、その貴重な自然環境が評価され、「世界遺産リスト」に登録されています。このように、世界の文化遺産や自然遺産の保護を推進している国際機関はどれですか。 (2016年 大分県公立入試 類似)
1. 世界貿易機関
 2. ユネスコ
 3. 東南アジア諸国連合
 4. 国連児童基金
- 問3 北海道の知床半島のすぐ東側に位置し、択捉島、色丹島、歯舞群島とともに、日本固有の領土でありながら現在はロシアによって法的根拠なく占拠されている島を何というか。 (2019年 岡山県公立入試 類似)
1. 国後島
 2. 色丹島
 3. 歯舞群島
 4. 択捉島
- 問4 北海道の冬の自然景観として知られる「流氷」は、シベリア沿岸のアムール川河口付近で凍った海水が風や海流に乗って南下してくるものです。北海道を北東・南東・西の3つの海域に分けたとき、この流氷が接岸し、砕氷船による観光が行われることで知られる海域の名称を答えなさい。 (2018年 山形県公立入試 類似)
1. 東シナ海
 2. オホーツク海
 3. 太平洋
 4. 日本海
- 問5 日本の諸地域の気候区分において、北海道の札幌市などで見られる、冬の寒さが厳しく1月の平均気温が氷点下になる気候帯の名称として適切なものを次の中から選びなさい。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
1. 熱帯
 2. 乾燥帯
 3. 冷帯（亜寒帯）
 4. 温帯
- 問6 北海道の開拓や歴史的背景に関連して、札幌周辺の状況を説明した記述として正しいものを次の中から選びなさい。 (2021年 熊本県公立入試 類似)
1. 蝦夷と呼ばれた人々が独自の地名を付け、江戸時代に大規模な稲作を行うために石狩平野の扇状地が開発された。
 2. アイヌ民族の言葉を由来とする地名が各所に残されており、明治時代には屯田兵が配置されて石狩平野の開拓が進められた。
 3. アイヌ民族の居住区を確保するため、明治政府は石狩平野を聖域として保護し、市街地の開発を禁止した。
 4. 本州からの移住者が開拓使の言葉で新しく命名した地名が定着しており、現在は十勝平野に代わる大規模農地となっている。
- 問7 北海道の農畜産業や地域の特徴について説明した文として最も適切なものを、次のうちから1つ選びなさい。 (2026年 岩手県公立入試 類似)
1. 温暖な気候を利用して米の二期作が行われ、輸送用機械器具の出荷額が全国有数である。
 2. 豚の飼育数は全国最多であるが、寒冷な気候のため小麦などの畑作はほとんど行われていない。
 3. 大都市への輸送に恵まれた近郊農業が中心で、国内航空乗客数は全国で最も少ない。
 4. 広大な土地を生かした大規模な農業が行われ、小麦の収穫量が多く畑作や畜産業が盛んである。
- 問8 日本国内の農産物統計において、北海道が全国の収穫量の100パーセントを占めており、主に砂糖の原料として利用される農作物はどれですか。 (2016年 山口県公立入試 類似)
1. ジャガイモ
 2. さとうきび
 3. ごんやくいも
 4. てんさい
- 問9 北海道の農業統計において、1970年代後半から約40年間で、稲の作付面積と総収穫量が減少している一方で、単位面積あたりの収穫量が増加している現象を説明する用語として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 岡山県公立入試 類似)
1. 自給足率の低下
 2. 耕作放棄地の拡大
 3. 農業生産性の向上
 4. 促成栽培の普及
- 問10 北海道において、宿泊施設の延べ宿泊者数や温泉地数が全国的に見て極めて多い水準にある理由と、その観光業の特色について述べた説明として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 福岡県公立入試 類似)
1. 冬の積雪が厳しいため、観光の主力は夏場の避暑や農業体験に限定されており、季節による宿泊者数の変動が極めて大きい構造となっているため。
 2. 首都圏からの距離が近いこと、日帰りの観光客を主なターゲットとした小規模な宿泊施設が特定の都市に集中し、効率的な運営が行われているため。
 3. 歴史的な寺社仏閣が全国で最も多く、それらの伝統的建造物を宿泊施設として再利用する取り組みが全道で進んでいるため。
 4. 火山帯に位置する地理的条件を活かした温泉地が各地にあり、広大な自然景観やパウダースノーなどの地域資源を求めて国内外から多くの観光客が訪れるため。
- 問11 北海道の釧路周辺における夏の気候について、統計資料では「8月の平均気温が約18度と低く、日照時間も短い」という特徴が示されることがあります。このような気候になる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 群馬県公立入試 類似)
1. オホーツク海高気圧から吹き出す冷たい風「やませ」が、日本海側に低温をもたらすため。
 2. 寒流である千島海流（親潮）によって冷やされた空気が濃霧となり、日射を遮るため。
 3. 冬の季節風が山脈を越えて吹き下ろし、フェーン現象が発生して乾燥するため。
 4. 暖流である日本海流（黒潮）が湿った空気を運び、大量の降雨をもたらすため。
- 問12 日本の農業に関する統計データにおいて、北海道が他の地方と比較して圧倒的に高い数値を示している二つの項目の組み合わせとして、最も適切なものはどれですか。 (2017年 福岡県公立入試 類似)
1. 単位面積あたりの農業従事者数と、一人あたりの肥料使用量
 2. 農業従事者一人あたりの耕地面積と、一人あたりのトラクター保有台数
 3. 総農家数に占める兼業農家の割合と、一人あたりの労働時間
 4. 農業従事者一人あたりの農業使用量と、一人あたりのビニールハウスの面積
- 問13 日本全体の耕地面積のうち約4分の1を占める北海道の農業について、その生産規模を正しく説明したものはどれですか。 (2021年 兵庫県公立入試 類似)
1. 全国シェア約13.5パーセントの農業産出額をあげており、面積のシェアに比べると産出額の割合は低い
 2. 広大な土地を活かした付加価値の高い農業により、農業産出額の全国シェアは面積シェアを大きく上回る
 3. 耕地面積は全国の4分の1だが、米の生産に特化しているため農業産出額のシェアは5パーセント未満である
 4. 農業産出額の全国シェアも耕地面積と同様に約25パーセントに達しており、面積相応の収益をあげている
- 問14 北海道には古くから独自の文化を築いてきた先住民族が居住しており、現在の札幌をはじめとする道内の多くの地名は彼らの言葉に由来しています。この民族を何と呼びますか。 (2019年 静岡県公立入試 類似)
1. 大和民族
 2. 琉球民族
 3. アイヌ民族
 4. ウィルト民族

答え合わせ・解説

問1	答え 4 高緯度に位置するため夏季の昼の時間が長く、日本海沿岸を北上する対馬海流が地域の気候に影響を与えている。	北半球では高緯度になるほど、夏季における昼の時間が長くなるという天文学的な特徴があります。そのため、北海道北端の地域では、本州以南と比較して夏季の日照時間が長くなりやすい条件にあります。また、北海道の西側の日本海沿岸には、暖流である対馬海流が北上しており、これが周辺の気候に影響を及ぼしています。太平洋側で夏に濃霧を発生させ、日照時間を減少させる要因となるのは寒流の千島海流（親潮）であり、日本海側の特徴とは異なります。
問2	答え 2 ユネスコ	知床の流水が育む豊かな生態系や、屋久島の樹齢数千年を超える屋久杉などは、人類全体で守るべき価値があるとして世界遺産（自然遺産）に登録されました。こうした遺産の選定や保護を主導しているのがユネスコです。よく似た名称のユニセフ（国連児童基金）は、子供の権利保護や支援を目的とした組織であり、混同しないよう注意が必要です。
問3	答え 1 国後島	国後島は、北海道の知床半島の東側に位置する島です。択捉島、色丹島、歯舞群島と合わせて北方領土と呼ばれます。北方領土の中で択捉島に次いで2番目に大きな面積を持ち、根室半島の先に位置する歯舞群島や色丹島などとともに、一度も外国の領土になったことがない日本固有の領土ですが、第二次世界大戦の終結直後に当時のソ連によって占拠されました。
問4	答え 2 オホーツク海	冬の北海道の北東部に位置するオホーツク海では、シベリア沿岸から流水が押し寄せます。これは、アムール川から流れ込む淡水の影響で海水の塩分濃度が下がり、氷がでやすくなるためです。紋別市や網走市などの沿岸都市では、この流水を砕氷船で見学するツアーが冬の重要な観光資源となっています。これに対し、北海道の西側は日本海、南東側は太平洋に面していますが、地理的条件により流水は接岸しません。
問5	答え 3 冷帯（亜寒帯）	日本の大部分は温帯に属していますが、最北に位置する北海道は冷帯（亜寒帯）に分類されます。この気候帯は、冬の寒さが非常に厳しく、夏が短いことが特徴です。札幌市の統計を見ると、1月の平均気温がマイナス5度前後まで下がる一方、7月には20度をを超えるなど、年間の気温差が大きいことも特色の一つです。
問6	答え 2 アイヌ民族の言葉を由来とする地名が各所に残されており、明治時代には屯田兵が配置されて石狩平野の開拓が進められた。	北海道の多くの地名は、先住民族であるアイヌ民族の言葉に漢字を当てはめたものです。明治時代に入ると、警備と開拓を兼ねた屯田兵が各地に置かれ、石狩平野の扇状地などを中心に札幌の近代的な街づくりが進められました。江戸時代までは本格的な稲作は行われておらず、明治以降の技術改良によって北限が広がりました。
問7	答え 4 広大な土地を生かした大規模な農業が行われ、小麦の収穫量が多く畑作や畜産業が盛んである。	北海道では、広い土地を活用して機械化された大規模農業が行われています。特に小麦の収穫量は全国トップクラスであり、酪農や畜産業も盛んです。
問8	答え 4 てんさい	この農作物は寒さに強いという特性を持っており、日本では冷涼な気候に適した北海道のみで栽培されています。別名「ビート」とも呼ばれ、沖縄県などで栽培されるさとうきびと並んで、日本の砂糖生産における主要な原料となっています。
問9	答え 3 農業生産性の向上	限られた土地からより多くの農産物を得られるようになることは、農業における「生産性の向上」を意味します。北海道では、大規模な農地を活かした機械化や、寒冷な気候に対応した育種技術の確立によって、少ない面積でも効率よく収穫を得る体制が整えられてきました。これは単なる面積の増減ではなく、技術的な進歩を指す重要な概念です。
問10	答え 4 火山帯に位置する地理的条件を活かした温泉地が各地にあり、広大な自然景観やパウダースノーなどの地域資源を求めて国内外から多くの観光客が訪れるため。	北海道には活発な火山活動に由来する温泉地が数多く存在します。これに加えて、国立公園に指定されるような広大な自然環境や、冬の質の高い雪といった独自の資源が観光の目玉となっています。これらが大規模な宿泊施設の整備と結びつき、高い延べ宿泊者数を維持する要因となっています。
問11	答え 2 寒流である千島海流（親潮）によって冷やされた空気が濃霧となり、日射を遮るため。	北海道の太平洋沿岸には寒流の千島海流（親潮）が流れています。夏、この冷たい海面上に南からの暖かく湿った空気が流れ込むと、空気が冷やされて大規模な濃霧が発生します。この霧がカーテンのような役割をして太陽の光を遮るため、沿岸部では日照時間が極端に短くなり、気温が上がらない「夏でも涼しい」気候が形成されます。
問12	答え 2 農業従事者一人あたりの耕地面積と、一人あたりのトラクター保有台数	北海道は明治時代以降の開拓の歴史から、農家一戸あたりの経営規模が他の都府県に比べて非常に大きいという特徴があります。広大な農地を少人数で効率よく耕作するために、トラクターなどの大型機械を積極的に導入した結果、一人あたりの耕地面積およびトラクター保有台数の両項目において、全国平均を大きく上回る統計値を示しています。
問13	答え 1 全国シェア約13.5パーセントの農業産出額をあげており、面積のシェアに比べると産出額の割合は低い	北海道の農業は「広大な農地」という特徴を持っていますが、統計で見ると耕地面積の全国シェア（約25%）に対し、農業産出額の全国シェア（約13.5%）はそれより低くなっています。これは、北海道が広大な土地を必要とする酪農や、大規模な機械化による畑作を主体としているためです。土地を効率的に使うことよりも、一戸あたりの生産量を増やす大規模経営に特化していることが、この数値の差に現れています。
問14	答え 3 アイヌ民族	アイヌ民族は北海道の先住民族であり、自然界のあらゆるものに魂が宿ると考える独自の精神文化や言語を持っています。北海道にある多くの地名は、彼らが地形や動植物の特徴を表現した言葉が語源となっており、例えば札幌（サッポロ）は「乾いた大きな川」を意味するアイヌ語の『サッ・ポロ・ベツ』に由来しています。

- 問1 北海道の内陸部に位置する地域の気候の特徴について、ある地点の統計を確認したところ、1月の平均気温がマイナス20度近くまで下がり、年間のすべての月において降水量が100mm未満という非常に少ない数値を示していました。この地域の気候について正しく述べたものはどれですか。
。（2019年 富山県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------------------------|---|---------------------------------------|--|
| 1. 冬の寒さが極めて厳しく、夏は冷涼で、年間を通して降水量が少ない。 | 2. 対馬海流の影響を強く受けるため、冬に雪が多く、年間降水量が2000mmを超える。 | 3. 季節風の影響で冬の降水量は多いが、夏は太平洋高気圧の影響で乾燥する。 | 4. 夏に「やませ」と呼ばれる冷たい北東風の影響を強く受け、夏でも霧が発生しやすい。 |
|-------------------------------------|---|---------------------------------------|--|
- 問2 北海道の十勝平野などで行われている、同じ土地に異なる種類の作物を数年ごとに順序立てて栽培する「輪作」の目的として、最も適切な説明はどれですか。
。（2018年 長野県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------------------|--|---|---|
| 1. 特定の病害虫の発生を抑え、土壌の肥沃さを維持して連作障害を防ぐため。 | 2. ビニールハウスなどの施設を利用して成長を早め、出荷時期をずらし、収穫を上げるため。 | 3. 機械化による作業効率を向上させるため、1つの農地で1種類の作物のみを栽培し続けるため | 4. 1年間に同じ土地で2種類の作物を栽培し、土地の利用効率を最大限に高めるため。 |
|---------------------------------------|--|---|---|
- 問3 東京都から各道県への旅客輸送に関する統計において、ある道県は鉄道の利用者が約19万人であるのに対し、航空機の利用者が約627万人と突出して多くなっています。この統計が示す道県の名称と、航空機の利用割合が極めて高い理由の組み合わせとして最も適切なものを次から選びなさい。
。（2022年 栃木県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 道県名は北海道であり、東京都からの移動距離が長い。所要時間の短い航空機が優先的に選択されているから。 | 2. 道県名は新潟県であり、山岳地帯を通過する鉄道よりも、直線的に移動できる航空機の方が効率が良いから。 | 3. 道県名は大阪府であり、ビジネス客の利便性を高めるために航空路線の便数が鉄道の運行本数を上回っているから | 4. 道県名は北海道であり、青函トンネルが貨物専用となっており、旅客が鉄道で海を渡ることができないから。 |
|---|--|--|--|
- 問4 北海道の北東部に位置し、冬になるとシベリア沿岸から流れてきた「流氷」が網走や紋別、知床半島の沿岸に押し寄せることで知られる海域の名称を選びなさい。
。（2025年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|--------|--------|-----------|
| 1. 東シナ海 | 2. 日本海 | 3. 太平洋 | 4. オホーツク海 |
|---------|--------|--------|-----------|
- 問5 1890年代後半から現代にかけての石狩川流域における土地利用の変化について説明した文として、最も適切なものはどれですか。
。（2021年 茨城県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 泥炭地と呼ばれる湿地は、地盤沈下を防ぐ目的から、明治時代と同じ面積が現在も維持されている | 2. かつて広大だった農地が、自然保護の観点から国主導で大規模な湿地へと復元された | 3. 市街地を拡大させるため、もともと存在した森林をすべて取り除き、大規模な泥炭地へと造り替えた | 4. 明治時代には流域の大部分を占めていた湿地が、開発とともに減少し、農地や市街地へと変化した |
|---|---|--|---|
- 問6 北海道には古くから独自の文化を築いてきた先住民族が居住しており、現在の札幌をはじめとする道内の多くの地名は彼らの言葉に由来しています。この民族を何と呼びますか。
。（2019年 静岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|-----------|----------|---------|
| 1. 琉球民族 | 2. ウィルタ民族 | 3. アイヌ民族 | 4. 大和民族 |
|---------|-----------|----------|---------|
- 問7 北海道の知床半島を含む東部地域では、夏季に「濃霧」が発生し、視界が悪くなったり気温が上がりにくくなったりすることがあります。この霧が発生する仕組みについて、海面を流れる潮の流れ（海流）と季節風の関係を説明したものとして最も適切なものはどれですか。
。（2026年 島根県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. オホーツク海から吹き込む冷たい風が、陸地の熱によって上昇気流となり、雲を作ることで発生する。 | 2. 日本海から吹き込む湿った季節風が、暖流である対馬海流によって冷やされることで発生する。 | 3. 太平洋から吹き込む湿った季節風が、寒流である親潮（千島海流）によって冷やされることで発生する。 | 4. 太平洋から吹き込む乾いた季節風が、暖流である黒潮（日本海流）によって温められることで発生する。 |
|---|--|--|--|
- 問8 北海道の酪農において、近年の統計で見られる「飼育戸数が減少しているにもかかわらず、全体の生乳生産量が増加している」という現象の背景にある、生産体制の工夫を説明する用語の組み合わせとして正しいものはどれですか。
。（2021年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------------|--------------|----------------|----------------|
| 1. 地産地消と手作業の重視 | 2. 減反政策と多角経営 | 3. 施設園芸農業と有機栽培 | 4. 経営規模の拡大と機械化 |
|----------------|--------------|----------------|----------------|
- 問9 知床で行われている、自然環境の保全と観光利用の両立を目指す「エコツーリズム」の考え方に基づいた具体的な取り組みとして、不適切なものはどれですか。
。（2022年 栃木県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 自動車による排気ガスや騒音、渋滞を抑えるために、一部区間で車両の乗り入れを規制する。 | 2. 希少な植物を踏みつけないよう、散策路を限定したり木道を整備したりする。 | 3. 地域の自然に詳しいガイドが同行し、ルールを守りながら自然を深く理解してもらうツアーを実施する。 | 4. 自然環境を保護しつつ、さらに多くの観光客を誘致するために、山頂まで通じる新しい高速道路を建設する。 |
|---|--|--|--|
- 問10 日本の諸地域の特徴をまとめた統計において、人口が約532万人であり、豊かな自然環境を背景に宿泊施設の延べ宿泊者数が約356万人、温泉地数が244箇所と全国的にも上位に位置する一方で、国宝の指定件数が1件にとどまっている地域はどこですか。
。（2023年 福岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|----------|
| 1. 中部地方 | 2. 九州地方 | 3. 関東地方 | 4. 北海道地方 |
|---------|---------|---------|----------|
- 問11 北海道東部の根釧台地において、稲作ではなく酪農が盛んに行われている理由として、その土地の自然環境について正しく説明しているものはどれですか。
。（2018年 長野県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 火山灰が堆積した土地で水持ちが悪く、大規模な灌漑施設を整備して水田を開発することが困難であったため | 2. 広大な平坦地が広がり、大型機械を用いた大規模な小麦や大豆の栽培に特化した方が効率的であったため | 3. 年間を通じて温暖で降水量が少なく、乳牛の病気を防ぐために乾燥した土地を利用する必要があったため | 4. 夏でも気温が上がりにくく霧が発生しやすい寒冷な気候であり、作物の栽培よりも牧草の生育に適しているため |
|--|--|--|---|
- 問12 北海道の稚内や知床といった地名は、ある人々の言語に由来しています。これらの地名の元となった言語を使用していた、北海道の先住民族を何と呼びますか。
。（2015年 佐賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|------------|--------|----------|
| 1. 縄文人 | 2. 蝦夷（えみし） | 3. 弥生人 | 4. アイヌ民族 |
|--------|------------|--------|----------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 冬の寒さが極めて厳しく、夏は冷涼で、年間を通して降水量が少ない。	北海道の内陸部は、海から遠く離れているために海による気温調節機能が働かず、放射冷却現象などの影響で冬の気温が極端に低くなります。また、周囲を山々に囲まれていることから、海からの湿った空気が入り込みにくく、日本海側などの沿岸部と比較しても年間降水量が少なくなるのが特徴です。
問2	答え 1 特定の病害虫の発生を抑え、土壌の肥沃さを維持して連作障害を防ぐため。	同じ土地で同じ作物を繰り返し栽培し続けると、特定の病害虫が発生しやすくなったり、土壌の養分が偏ったりして作物の育ちが悪くなる「連作障害」が発生します。これを防ぐために、豆類、小麦、てんさい、じゃがいもといった性質の異なる作物を順番に植え替えることで、土地の生産性を維持しています。
問3	答え 1 道県名は北海道であり、東京都からの移動距離が長いこと、所要時間の短い航空機が優先的に選択されているから。	東京都から北海道への移動は、距離が非常に長く時間がかかるため、新幹線などの鉄道よりも高速な航空機が選ばれる傾向が顕著です。一般に、交通手段の選択においては「4時間の壁」と呼ばれる基準があり、鉄道（新幹線）での所要時間が4時間を超える場合、航空機のシェアが圧倒的に高くなります。新潟県や大阪府は東京都からの距離が比較的近く、鉄道（新幹線）の利用割合が高い地域であるため、提示された統計データには合致しません。
問4	答え 4 オホーツク海	北海道の北東側に位置するこの海域は、シベリアのアムール川から流れ込む淡水の影響で塩分濃度が低くなり、冬の厳しい寒さによって海水が凍り、流氷が形成されます。網走や紋別では観光船による流氷見学が盛んであり、知床半島は流氷がもたらす栄養分によって豊かな生態系が保たれていることから世界自然遺産に登録されています。
問5	答え 4 明治時代には流域の大部分を占めていた湿地が、開発とともに減少し、農地や市街地へと変化した	石狩川流域の変遷を見ると、明治時代（19世紀末）には非常に広い面積を占めていた湿地が、昭和から平成へと時代が進むにつれて大幅に減少していることがわかります。この変化は、北海道の開拓に伴って湿地の排水・土地改良が進められた結果であり、湿地だった場所は食料供給を支える農地や、札幌市などの都市を支える市街地へと転換されてきました。
問6	答え 3 アイヌ民族	アイヌ民族は北海道の先住民族であり、自然界のあらゆるものに魂が宿ると考える独自の精神文化や言語を持っています。北海道にある多くの地名は、彼らが地形や動植物の特徴を表現した言葉が語源となっており、例えば札幌（サッポロ）は「乾いた大きな川」を意味するアイヌ語の『サツ・ポロ・ベツ』に由来しています。
問7	答え 3 太平洋から吹き込む湿った季節風が、寒流である親潮（千島海流）によって冷やされることで発生する。	夏季の北海道東部では、南東の太平洋側から湿った季節風が吹き込みます。この風が、千島列島から南下してくる非常に水温の低い寒流である「親潮」の上を通る際、空気の温度が急激に下げられます。これによって空気中に含まれていた水蒸気が凝結して細かい水滴となり、濃い霧が発生します。この仕組みは、暖かい空気が冷たい海面に触れることで生じるため「移流霧」と呼ばれ、現地の農業や交通に影響を与えます。
問8	答え 4 経営規模の拡大と機械化	酪農家1戸あたりの飼育頭数を増やして効率を上げる「経営規模の拡大」と、搾乳ロボットなどの導入による「機械化」が組み合わせることで、労働負担を軽減しながら高い生産性を確保しています。統計上でも、100頭以上の大規模な飼育戸数の増加や、搾乳ロボットの普及率の劇的な上昇にその傾向が表れています。
問9	答え 4 自然環境を保護しつつ、さらに多くの観光客を誘致するために、山頂まで通じる新しい高速道路を建設する。	エコツーリズムとは、地域の自然や文化の価値を伝え、その保全に責任を持ちながら観光を行う仕組みです。知床では、過去に道路の開通が自然環境への負荷を増大させた経緯があるため、新たな大規模な道路建設などの開発は、環境保全と観光の両立という方針に反します。
問10	答え 4 北海道地方	北海道は、広大な土地と豊かな自然資源を活かした観光業が盛んで、温泉地数や宿泊者数は全国有数の規模を誇ります。一方で、明治時代以降の開拓が歴史の中心であるため、近世以前の文化財を中心とする国宝の指定件数は、古くからの歴史を持つ他の地方に比べて少ない傾向にあります。
問11	答え 4 夏でも気温が上がりにくく霧が発生しやすい寒冷な気候であり、作物の栽培よりも牧草の生育に適しているため	根釧台地などの北海道東部は、夏に千島海流（親潮）の上を通る湿った空気が冷やされて「移流霧（海霧）」が発生し、日照不足と低温をもたらします。この気候は稲作には不向きですが、寒冷な気候でも育つ牧草の生産には適しています。そのため、その牧草を飼料として乳牛を育てる酪農が、地域の特色ある産業として定着しました。
問12	答え 4 アイヌ民族	北海道には古くから、独自の文化を持つ先住民族であるアイヌの人々が暮らしてきました。現在でも北海道の多くの地名は、彼らの言語である「アイヌ語」に由来しています。例えば「稚内」はアイヌ語で「冷たい水の出る川」という意味の言葉に由来するなど、地域の自然の特徴が名前に反映されていることが多くあります。

- 問1 日本の各地域の農業を比較した統計において、北海道は農業従事者一人あたりの農業産出額が約1570万円となっており、他地域の平均である約310万円と比べて極めて高い数値を示しています。このような北海道の農業を支える背景として最も適切なものはどれですか。 （2024年 福岡県公立入試 類似）
1. 傾斜地の多い地形を活かして段々畑を作り、果樹などの高付加価値な作物を少人数で栽培している。
2. 気候が温暖であることを利用し、ビニールハウスなどの施設を用いて他の地域より出荷時期を早める促成栽培が主流である。
3. 都心に近い立地を活かし、限られた土地に多くの労働力を投入して単位面積あたりの収益を上げる集約的な農業を行っている。
4. 農業従事者一人あたりの耕地面積が非常に広く、大型の機械を導入することで生産性を高めている。
- 問2 北海道の農業経営が、他の都府県と比較して「大規模農業」と呼ばれている理由として、その特徴を適切に説明しているものはどれですか。 （2016年 愛媛県公立入試 類似）
1. 都市近郊の立地を活かして、狭い土地で付加価値の高い野菜を生産する園芸農業が中心である
2. 大型の農業機械を導入することで、農業就業者一人あたりの耕地面積を広げている
3. 温暖な気候を利用して、同じ土地で年に2回作物を栽培する二毛作を徹底している
4. 山がちな地形を活かし、小規模な土地に多くの労働力を投入する集約的な農業を行っている
- 問3 北海道のある都市の気候統計において、年平均気温が約8.9度、年降水量が約1106.5mmであり、特に12月や1月の降水量が比較的多いというデータが見られました。この都市が位置する場所として最も適切な条件はどれですか。 （2018年 長野県公立入試 類似）
1. 北海道の東側に位置し、親潮（寒流）の影響を強く受ける地域
2. 北海道の中央部に位置し、海から離れた盆地状の地域
3. 北海道の西側に位置し、日本海の影響を受ける地域
4. オホーツク海に面し、冬には流氷が押し寄せる地域
- 問4 北海道の中央南部に位置し、石狩低地帯の東側から南の襟裳岬方面へと南北に連なる険しい山脈の名称として、最も適切なものを選びなさい。 （2024年 岡山県公立入試 類似）
1. 日高山脈
2. 奥羽山脈
3. 飛騨山脈
4. 赤石山脈
- 問5 水産資源を安定的に確保することを目的として、卵から人工的にふ化させた稚魚を、外敵から守れる環境である程度まで育ててから自然の海や川へ放流し、成長した後に再び漁獲する漁業の形態を何といいますか。 （2019年 岡山県公立入試 類似）
1. 養殖業
2. 遠洋漁業
3. 沖合漁業
4. 栽培漁業
- 問6 北海道の北部に位置しながら、上川盆地で稲作が盛んに行われている理由について、この地域の気候の特性から説明したものとして最も適切なものはどれですか。 （2016年 群馬県公立入試 類似）
1. 季節風の影響で年中雨がが多く、灌漑施設に頼らずに水田に水を引くことができるため
2. 一年を通じて暖流の影響を強く受けるため、冬でも雪が降らず温暖な気候が続くため
3. 内陸のため夏は比較的气温が上がり、稲の成長に必要な熱が得られる内陸性気候であるため
4. 標高が高いため、夏でも涼しく害虫の被害を受けにくいという気候特性を持っているため
- 問7 北海道東部に位置する根釧台地では、広大な土地を利用した大規模な酪農が盛んに行われています。この地域で畑作よりも酪農が適している理由として、気候や土地の条件を説明した文として最も適切なものはどれですか。 （2016年 大分県公立入試 類似）
1. 一年を通じて降水量が非常に少なく乾燥した気候であり、水不足に強い牛の飼育が適しているから。
2. 冬の積雪量が非常に多く、春になっても雪が解けないため、耕作期間が極端に短いから。
3. 土地が火山灰で覆われており非常に肥沃であるため、肥料を使わずに効率よく飼料を生産できるから。
4. 夏は湿った風の影響で濃霧が発生しやすく、低温であるため、作物の栽培よりも牧草の生育に適しているから。
- 問8 日本の農業統計において、北海道は1戸あたりの経営耕地面積が10ヘクタール以上の大規模な農家が約6割を占めており、これは全国平均の約2.5%と比較して極めて高い数値です。また、農業産出額の構成比では、乳用牛や肉用牛などの部門が50%を超えています。このような北海道の農業の特色について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 （2017年 埼玉県公立入試 類似）
1. 広大な土地を活用した大規模経営が行われ、生産額では畜産が大きな割合を占めている。
2. 人口の多い大都市への出荷を目的として、限られた土地で野菜を育てる近郊農業が盛んである。
3. 冷涼な気候を活かして、米や果実の生産を主力とした小規模な家族経営が中心となっている。
4. 全国平均と比べて1戸あたりの耕地面積は小さいが、機械化によって米の産出額が半分を超えている。
- 問9 北海道の太平洋沿岸部において、夏に発生する濃い霧（海霧）の発生メカニズムについて説明した記述として、最も適切なものを選択してください。 （2024年 石川県公立入試 類似）
1. 北西から吹く冷たい季節風が、暖流である黒潮（日本海流）によって温められるため。
2. 南東から吹く乾いた季節風が、寒流であるリマン海流によって冷やされるため。
3. 南東から吹く湿った季節風が、寒流である親潮（千島海流）によって冷やされるため。
4. 北西から吹く湿った季節風が、暖流である対馬海流によって温められるため。
- 問10 北海道の北東側に面し、千島列島へと連なる海域において、冬季にシベリア沿岸から流氷が押し寄せることが大きな特徴となっている海域の名前を選びなさい。 （2024年 石川県公立入試 類似）
1. オホーツク海
2. 東シナ海
3. 日本海
4. 太平洋
- 問11 北海道と本州の交通網の整備とその地理的背景について説明した文として、最も適切なものを選択してください。 （2018年 長野県公立入試 類似）
1. 津軽海峡を横断する高速道路専用の橋を建設し、青森県から秋田県への自動車移動を効率化させた。
2. 津軽海峡の海底に青函トンネルを建設することで、青森県と北海道の間の安定した鉄道輸送が可能になった。
3. 関門トンネルを抜けた新幹線が、岩手県から直接北海道へ乗り入れることで移動時間を大幅に短縮した。
4. 宗谷海峡に巨大な橋を架けることで、北海道とロシアを陸路で結び、農作物の輸出を拡大させた。
- 問12 北海道ではバルブ・紙・紙加工品製造業が地域の主要な産業の一つとなっています。この工業が北海道で発達した背景として、最も適切な理由を選びなさい。 （2021年 京都府公立入試 類似）
1. 大規模な消費地である東京圏に隣接しているため
2. 原料となる豊かな森林資源が豊富に存在するため
3. 内陸部に高度な技術を持つ機械部品工場が集積しているため
4. 海外から輸入した木材チップの加工に特化した貿易港があるため

答え合わせ・解説

問1	答え 4 農業従事者一人あたりの耕地面積が非常に広く、大型の機械を導入することで生産性を高めている。	北海道の農業は、明治時代以降の開拓の歴史を背景に、他都府県と比較して一戸あたりの経営規模が非常に大きいのが特徴です。広大な耕地を効率よく管理するため、大型のトラクターやコンバインなどの機械化が進んでおり、その結果として、農業従事者一人あたりの生産額が他地域を大きく上回る大規模経営が実現しています。
問2	答え 2 大型の農業機械を導入することで、農業従事者一人あたりの耕地面積を広げている	平坦で広大な土地を活かし、トラクターなどの大型機械を効果的に導入することで、少人数で広大な面積を管理する仕組みが整っています。これにより、一人あたりの生産性が高まり、米の生産量においても国内有数の割合を占めるに至っています。他の選択肢にある二毛作は主に温暖な地域、集約的農業や園芸農業は都市近郊や限られた土地を活用する地域で見られる特徴です。
問3	答え 3 北海道の西側に位置し、日本海の影響を受ける地域	北海道の日本海側に位置する都市（札幌など）は、対馬海流（暖流）の影響を受けるため、冬に北西の季節風によってもたらされる雪の影響で、12月や1月の降水量が多くなります。年平均気温が9度前後、降水量が1100mm程度という数値は、北海道の中でも比較的温暖で、冬の降雪が顕著な西岸地域の典型的な特徴を示しています。
問4	答え 1 日高山脈	北海道の南部に位置するこの山脈は、その陰しさから地域の交通や気候を分ける地理的境界線として機能しています。選択肢にある飛騨山脈や赤石山脈は中部地方（日本アルプス）に位置し、奥羽山脈は東北地方の中央を南北に走る山脈であるため、北海道の地形としては日高山脈が正解となります。
問5	答え 4 栽培漁業	稚魚の時期は自然界において外敵に襲われやすく、生存率が非常に低いという課題があります。この期間を人間が管理する施設で保護してから放流することで、資源の回復を図ります。最後まで人間が管理して育てる養殖業とともに「育てる漁業」と呼ばれますが、最終的に自然の海へ戻す点が最大の特徴です。
問6	答え 3 内陸のため夏は比較的気温が上がり、稲の成長に必要な熱が得られる内陸性気候であるため	上川盆地は海から離れた内陸に位置しているため、夏は海沿いの地域に比べて気温が上昇しやすい「内陸性気候」の性質を持っています。稲の結実には夏の一定以上の高温が必要であるため、この気候特性が北海道での稲作を可能にしています。一方で、冬は非常に寒さが厳しく、積雪量が多いことも特徴の一つです。
問7	答え 4 夏は湿った風の影響で濃霧が発生しやすく、低温であるため、作物の栽培よりも牧草の生育に適しているから。	根釧台地は千島海流（親潮）の影響を受けた湿った空気が流れ込み、夏に濃霧が発生しやすく、気温が上がらない「冷涼」な気候が特徴です。このような気候条件や火山灰地という性質は、一般的な畑作には不向きですが、牛の餌となる牧草の栽培には適しているため、大規模な酪農が発展しました。
問8	答え 1 広大な土地を活用した大規模経営が行われ、生産額では畜産が大きな割合を占めている。	北海道は明治時代以降の開拓の歴史や、広大で平坦な土地という地理的条件を背景に、機械を用いた「大規模経営」が発達しました。気候面では、特に東部や北部を中心に冷涼な地域が多く、稲作よりも広大な草地を利用した酪農などの「畜産」に適しています。その結果、農業産出額においても畜産が51.7%と過半数を占め、米や野菜が中心となる日本全体の農業構造とは異なる独自の特色を持っています。
問9	答え 3 南東から吹く湿った季節風が、寒流である親潮（千島海流）によって冷やされるため。	日本の夏は、太平洋側の小笠原気団から南東の季節風が吹き込みます。この湿った空気が、北海道の東側の太平洋沿岸を流れる冷たい寒流「親潮（千島海流）」の上を通る際、急激に冷やされることで空気中の水蒸気が水滴に変わり、濃い霧が発生します。冬の北西季節風や、暖流である黒潮・対馬海流とは発生条件が異なります。
問10	答え 1 オホーツク海	北海道の北側に位置するこの海域は、冬になるとアムール川から流れ込む淡水の影響で塩分濃度が低くなった海水が凍り、それが季節風に乗って南下してくる「流氷」が見られることで有名です。日本の周辺海域でこのような大規模な流氷が観測されるのは、この海域特有の現象です。
問11	答え 2 津軽海峡の海底に青函トンネルを建設することで、青森県と北海道の間の安定した鉄道輸送が可能になった。	かつて本州と北海道の輸送は青函連絡船が主流でしたが、海上の悪天候による欠航が課題でした。これを解決するために、青森県と北海道の間の津軽海峡に青函トンネルが建設されました。これにより、本州からの玄関口である青森県を経由して、新幹線や貨物列車が年間を通じて安定して往来できるようになりました。
問12	答え 2 原料となる豊かな森林資源が豊富に存在するため	パルプ・紙・紙加工品製造業は、木材を原料とするため、森林資源が豊富な地域で発達しやすいという特性があります。北海道は日本全体の森林面積の多くを占めており、この豊かな森林資源を背景に製紙業などが地域の主要産業へと成長しました。

- 問1 北海道二セコ町の月別外国人宿泊者数は12月から3月にかけて突出して多く、産業別の就業者数割合では飲食業・宿泊業が17.8%で最も高い数値を示しています。これらのデータから読み取れる地域の特徴として、最も適切な記述を選びなさい。（2026年 岩手県公立入試 類似）
1. 夏季の観光需要の高まりに合わせて外国人観光客が集まるため、年間を通じて農業の就業者数が最も多い。
 2. 外国人観光客の宿泊が夏場に集中しているため、冬場は観光関連産業の就業者が減少し農業へ移行している。
 3. 全国の平均と比較して製造業の就業者割合が極めて高く、外国人観光客は年間を通じて均等に宿泊している。
 4. ウインタースポーツを目的とした外国人観光客の増加に伴い、飲食・宿泊関連の産業が町の中心的な雇用を生み出している。
- 問2 1997年に施行された「アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律（アイヌ文化振興法）」が、それ以前の政策から大きく転換した点について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2023年 長野県公立入試 類似）
1. アイヌの人々に対して金銭的な補償を行うことで、すべての歴史的課題を解決する方針に転換した。
 2. アイヌの人々を独自の文化を持つ集団として認め、伝統や言語の振興を支援する方針に転換した。
 3. アイヌの人々を日本人に同化させることを目的とし、日本語教育を義務づける方針に転換した。
 4. アイヌの人々の居住地を北海道に限定し、伝統的な狩猟や漁業の権利のみを保障する方針に転換した。
- 問3 かつての石狩平野の自然環境と、その土地で行われた開発の背景について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2021年 神奈川県公立入試 類似）
1. 植物の遺体が分解されずに堆積した農業に適さない湿地帯であったため、排水や客土による土地改良を行った。
 2. 火山噴出物が堆積した水はけの良すぎる土地であったため、大規模なかんがい施設を整備して畑作を行った。
 3. サンゴ礁が隆起してできた保水力のない土地であったため、地下ダムを建設して農業用水を確保した。
 4. 海岸近くの浅瀬を堤防で囲んで干し上げた土地であったため、塩害を防ぐための用水路整備を優先した。
- 問4 世界遺産に登録されている知床では、多くの観光客が訪れる一方で、自然環境を破壊しないための対策が取られています。湿原や高山植物が広がるエリアに「木道」が設置されている主な目的として、最も適切な説明はどれですか。（2021年 千葉県公立入試 類似）
1. 大雨が降った際に地面の侵食を防ぎ、土砂が海へ流出するのを食い止めるため
 2. 周辺の森林から切り出された木材の輸送を効率化し、地元の林業を活性化させるため
 3. ヒグマなどの野生動物が、人間の歩行ルートに侵入できないように物理的に遮断するため
 4. 観光客が地面を直接踏み固めて、貴重な植物の成長を妨げないようにするため
- 問5 日本の都道府県別の統計において、北海道の耕地面積は全国の約25%という広大な面積を占めていますが、農業産出額の全国シェアは約13.5%となっています。この数値の比較から読み取れる、北海道の農業の特徴として適切なものはどれですか。（2021年 兵庫県公立入試 類似）
1. 耕地面積は非常に広いが、農業産出額の合計は全国の都道府県の中で最も低い水準にある
 2. 耕地面積の割合よりも、農業産出額の全国シェアの方が高くなっている
 3. 耕地面積と農業産出額のどちらも、全国の約半分以上を占める圧倒的な規模である
 4. 広大な耕地面積を有しているが、面積の割合に比べると農業産出額の割合は低くなっている
- 問6 北海道の南東部に位置する十勝平野では、その広大な土地と冷涼な気候を活かした大規模な農業が行われています。この地域における農業の特色を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2022年 和歌山県公立入試 類似）
1. 豊かな水資源を利用した大規模な稲作が行われ、米の単作地帯となっている。
 2. 大消費地に近い立地を活かして、ビニールハウスを用いた施設園芸農業が行われている。
 3. 輪作を中心とした大規模な畑作が行われ、あわせて酪農も盛んである。
 4. 温暖な気候を利用して、冬でもレタスなどの野菜を栽培する促成栽培が行われている。
- 問7 北海道の酪農において、近年の統計で見られる「飼育戸数が減少しているにもかかわらず、全体の生乳生産量が増加している」という現象の背景にある、生産体制の工夫を説明する用語の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2021年 熊本県公立入試 類似）
1. 地産地消と手作業の重視
 2. 施設園芸農業と有機栽培
 3. 減反政策と多角経営
 4. 経営規模の拡大と機械化
- 問8 札幌市の気候の特色を、本州の都市と比較して説明したものとして、最も適切な内容を選んでください。（2023年 福井県公立入試 類似）
1. 日本海流の影響を強く受けるため、1月の平均気温は氷点下にはならず、年間を通じて降水量が平均化されている。
 2. 季節風の影響で冬の降水量は本州の日本海側より多いが、夏季は太平洋高気圧の影響で非常に高温多湿となる。
 3. 1月の平均気温が氷点下となる一方で、梅雨前線の停滞により初夏の降水量が本州の都市よりも多くなる。
 4. 緯度が高いため1月の平均気温が氷点下となり、梅雨や台風の影響が少ないため夏季の降水量が本州に比べて抑えられている。
- 問9 北海道西部に位置する石狩平野は、かつて植物の遺体が十分に分解されずに堆積した「泥炭地」と呼ばれる湿地帯が広がっており、農業には不向きな土地でした。この地域において、他の土地から土を運び入れる「客土」などの土地改良が行われた結果、現在ではどのような農業が盛んに行われていますか。（2024年 徳島県公立入試 類似）
1. 十勝平野で見られるような大規模な畑作
 2. 冷涼な気候を活かしたリンゴなどの果樹栽培
 3. 根釧台地で主流となっている大規模な酪農
 4. 大規模な機械化による水田稲作
- 問10 旭川市周辺において、昭和から平成にかけて田畑や空き地が住宅地や発電所へと変化した現象について、その背景にある社会的な要因として最も適切な説明はどれですか。（2016年 京都府公立入試 類似）
1. 自然環境を保護するために、市街地の面積を昭和初期の規模にまで縮小させたため。
 2. 食料自給率を向上させるために、都市部の建物を壊して農地を拡大する政策がとられたため。
 3. 交通網の衰退により、郊外からの人口流出が激しくなり、土地が放置されたため。
 4. 都市化の進展に伴い、居住空間の確保やエネルギー供給の必要性が高まったため。
- 問11 北海道の農業産出額の構成において、畜産の占める割合が5割を超え、米の割合を大きく上回っている理由として最も適切な説明はどれですか。（2016年 岩手県公立入試 類似）
1. 平地が少ないため、傾斜地を利用した果樹栽培が盛んに行われているため
 2. 大消費地に近い利点を活かして、野菜の生産を最も重視しているため
 3. 広大な土地を活かして、乳牛などの大規模な飼育が行われているため
 4. 冷涼な気候を活かして、米の生産に特化した大規模農業が行われているため
- 問12 北海道の東部に位置する太平洋沿岸の地域では、夏に「濃霧（海霧）」が発生し、日照不足などの影響を与ることがあります。この現象が発生するメカニズムの説明として、最も適切なものはどれですか。（2024年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 南東からの湿った季節風が、暖流である対馬海流の上を通る際に温められるため。
 2. 南東からの湿った季節風が、寒流である親潮（千島海流）の上を通る際に冷やされるため。
 3. 北西からの乾燥した季節風が、暖流である黒潮（日本海流）の上を通る際に温められるため。
 4. 北西からの湿った季節風が、寒流であるリマン海流の上を通る際に冷やされるため。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 ウインタースポーツを目的とした外国人観光客の増加に伴い、飲食・宿泊関連の産業が町の中心的な雇用を生み出している。	二セコ町では、12月から3月という冬の時期に外国人宿泊者数が突出して多くなっています。これは良質な雪を求めて訪れるスキー客などの影響であり、それに伴って飲食業や宿泊業の就業者割合が最も高い水準となっています。
問2	答え 2 アイヌの人々を独自の文化を持つ集団として認め、伝統や言語の振興を支援する方針に転換した。	それまでの「北海道旧土人保護法」は、アイヌの人々を日本人の中に同化させることを目指した法律であり、アイヌ独自の文化や言語は否定される傾向にありました。アイヌ文化振興法の制定は、そうした同化政策から、多文化共生社会の実現に向けて、アイヌ独自の民族的誇りや文化的多様性を尊重する方針へと舵を切った重要な転換点となりました。
問3	答え 1 植物の遺体が分解されずに堆積した農業に適さない湿地帯であったため、排水や客土による土地改良を行った。	石狩平野の開拓における最大の課題は、泥炭地と呼ばれる湿地帯の克服でした。泥炭地は植物が腐敗しきらずに積もったもので、そのままでは農業に適さないため、水を抜くための排水技術と、別の場所から土を運び入れる客土という高度な土地改良技術が組み合わされました。他の選択肢にある「火山噴出物の土地」はシラス台地、「サンゴ礁の土地」は沖縄・南西諸島に関する記述であり、石狩平野の歴史的背景とは異なります。
問4	答え 4 観光客が地面を直接踏み固めて、貴重な植物の成長を妨げないようにするため	知床のような貴重な自然環境では、観光客が自由に歩き回ると足元の植物が踏み荒らされたり、土壌が踏み固められて植物が育たなくなったりする「踏みつけ」の被害が発生します。木道を設置することで観光客の動線を限定し、環境保護と観光利用の両立（エコツーリズム）を図っています。
問5	答え 4 広大な耕地面積を有しているが、面積の割合に比べると農業産出額の割合は低くなっている	北海道の耕地面積は約1,147千haであり、全国の約4,496千haに対して約4分の1（25%）を占めています。一方で、農業産出額は約1,185十億円であり、全国の約8,798十億円に対して占める割合（シェア）は約13.5%にとどまります。このことから、北海道の農業は一戸あたりの経営規模が非常に大きいものの、単位面積あたりの収益性が高い施設園芸農業（ビニールハウス栽培）などが盛んな都市近郊の地域などと比べると、面積シェアに対する産出額シェアは低くなる傾向にあります。
問6	答え 3 輪作を中心とした大規模な畑作が行われ、あわせて酪農も盛んである。	北海道の十勝平野は、日本を代表する畑作地帯です。1戸あたりの耕地面積が非常に広く、大型機械を導入した大規模な農業が展開されています。ジャガイモ（馬鈴薯）、てんさい（ビート）、豆類、小麦などを組み合わせた畑作のほか、乳牛を飼育して生乳を生産する酪農も組み合わせられているのが大きな特徴です。
問7	答え 4 経営規模の拡大と機械化	酪農家1戸あたりの飼育頭数を増やして効率を上げる「経営規模の拡大」と、搾乳ロボットなどの導入による「機械化」が組み合わせることで、労働負担を軽減しながら高い生産性を確保しています。統計上でも、100頭以上の大規模な飼育戸数の増加や、搾乳ロボットの普及率の劇的な上昇にその傾向が表れています。
問8	答え 4 緯度が高いため1月の平均気温が氷点下となり、梅雨や台風の影響が少ないため夏季の降水量が本州に比べて抑えられている。	札幌市が位置する北海道は、日本の最北部に位置するため1月の平均気温が氷点下になるという厳しい寒さが特徴です。また、本州以南とは異なり、梅雨の影響をほとんど受けず、台風の通過も相対的に少ないため、夏季の降水量が本州の主要都市に比べて少なくなるという背景があります。
問9	答え 4 大規模な機械化による水田稲作	石狩川の下流に広がる石狩平野は、もともとは水分を多く含み農耕に適さない泥炭地でした。明治時代以降、排水路の整備や客土といった大規模な土地改良事業が進められたことで、日本有数の米の生産量を誇る水田地帯へと生まれ変わりました。北海道東部の十勝平野が畑作、根釧台地が酪農の中心である点と区別する必要があります。
問10	答え 4 都市化の進展に伴い、居住空間の確保やエネルギー供給の必要性が高まったため。	旭川市における土地利用の変化は、日本の多くの地方都市で見られた都市化のプロセスを反映しています。昭和後期から平成にかけて、都市の規模が拡大する中で、かつて農業に使われていた土地や未利用地が、人々の生活の場（住宅地）や社会インフラ（発電所など）へと転換されました。これにより、地域の経済活動や住民の利便性が向上した一方で、周辺の自然景観や農地が減少するという側面も持っています。
問11	答え 3 広大な土地を活かして、乳牛などの大規模な飼育が行われているため	北海道の農業は、1戸あたりの耕地面積が非常に広く、機械化された大規模な経営が特徴です。特に、稲作が困難な地域も含め、広大な草地を利用した酪農（乳牛の飼育）が全域で盛んに行われているため、産出額に占める畜産の割合が突出して高くなります。「米の割合が高い」あるいは「野菜の割合が高い」といった他の地域の構成とは、土地利用の規模の面で大きく異なります。
問12	答え 2 南東からの湿った季節風が、寒流である親潮（千島海流）の上を通る際に冷やされるため。	日本の夏は、小笠原気団から湿った南東の季節風が吹き込みます。この風が、北海道の東の海域を流れる寒流（冷たい海流）である親潮（千島海流）の上を通る際、海面に冷やされて空気中の水蒸気が水滴になることで濃霧が発生します。この霧は日照時間を減少させ、気温の上昇を妨げる要因となります。

- 問1

明治政府が北海道の組織的な開発を進めるために「開拓使」という機関を設置した際、農業に従事して土地を切り拓きながら、同時に北方の警備という軍事的な役割も兼ねて配置された人々を何と呼びますか。

(2021年 神奈川県公立入試 類似)

1. 屯田兵

2. 地頭

3. 防人

4. 御家人

問2

日本の農業統計において、北海道は都府県と比べて1戸あたりの経営耕地面積が極めて広く、10ha以上の面積を持つ農家が全体の6割を超えています。このように広大な土地を利用した「大規模経営」が展開される中で、農業所得を世帯収入の主軸としている農家のことを何と呼びますか。北海道ではこの形態の農家が約7割を占めており、都府県の約2割という数値と比較して非常に高い割合となっています。

(2018年 長野県公立入試 類似)

1. 専業農家

2. 副業的農家

3. 準主業農家

4. 主業農家

問3

日本の農作物の生産統計において、北海道が全国の生産量の約8割を占め、主に砂糖の原料として利用される寒冷地向けの作物は何ですか。

(2018年 長野県公立入試 類似)

1. りんご

2. てんさい

3. 茶

4. さとうきび

問4

北海道の旭川市など、内陸部の都市の開発に関連した歴史的背景として、最も適切な説明はどれですか。

(2016年 群馬県公立入試 類似)

1. アイヌの人々が古くから築いていた大規模な城郭都市を、明治政府が接収して発展させた

2. 戦後の高度経済成長期に、石炭採掘の拠点としてゼロから建設された

3. 明治時代以降、屯田兵が配置され、北方警備と並行して農地の開拓が行われた

4. 江戸時代に松前藩が交易の拠点として整備し、本州からの商人が集まって形成された

問5

北海道の石狩平野において、かつて広範囲にわたって見られた、水分を多く含む植物の遺体が分解されずに積み重なってできた土地を何といいますか。この土地はもともと農業には適さない湿地帯でしたが、客土などの土地改良により現在は大規模な稲作地帯となっています。

(2021年 神奈川県公立入試 類似)

1. シラス台地

2. 干拓地

3. カルスト地形

4. 泥炭地

問6

北海道の農業の特色について述べた文として、生乳の利用状況に着目して説明したものとして正しいものを選びなさい。

(2019年 静岡県公立入試 類似)

1. 冷涼な気候を活かして乳牛の飼育が行われているが、生乳の生産よりも食肉用の肉牛の飼育が統計上の大半を占めている。

2. 大消費地に近い利点を活かし、鮮度を保った飲用牛乳を都市部に供給する近郊農業が酪農の主流となっている。

3. 生産された生乳の多くをバターやチーズの原料とする「加工用」に回しており、広大な土地を活用した大規模な酪農が行われている。

4. 生乳の生産量は多いが、そのほとんどは自家消費や道内での流通に限られており、加工品としての道外出荷は少ない。

問7

北海道の農業産出額の構成を示したデータでは、乳用牛や肉用牛といった「畜産」が51.7%を占め、全国平均の31.4%を大きく上回っています。北海道において、このように畜産が盛んになった背景や理由として最も適切な説明はどれですか。

(2017年 埼玉県公立入試 類似)

1. 夏の高温多湿な気候を活かし、広大な土地で年に二度、米を収穫する二期作が行われたため。

2. 広大な土地と冷涼な気候を活かし、大規模な牧草地を確保して酪農などを行うのに適していたため。

3. 大消費地である東京周辺への輸送距離が非常に短く、新鮮な食肉や牛乳を即座に届けられる有利な立地であったため。

4. 山がちで複雑な地形を活かし、小規模な土地で果樹栽培と畜産を組み合わせた多角経営を推進したため。

問8

北海道の平野部について述べた次の文のうち、石狩平野の特徴として最も適切なものはどれですか。なお、北海道の地形において石狩平野は西部に、十勝平野は東部に位置しています。

(2024年 徳島県公立入試 類似)

1. 冷涼な気候と広い土地を利用し、乳牛を飼育する酪農が最も盛んである。

2. かつての泥炭地を土地改良によって克服し、大規模な水田地帯となった。

3. 険しい山々に囲まれた盆地であり、夏に高温になる気候を活かした稲作が行われている。

4. 火山灰が厚く堆積した土地を活かし、ジャガイモやデンサイなどの畑作が行われている。

問9

北海道の北東に位置する国後島などの北方領土をめぐる、日本政府の立場や現状についての説明として正しいものはどれか。

(2019年 岡山県公立入試 類似)

1. サンフランシスコ平和条約において日本が放棄した千島列島の一部であり、現在は国際連合の管理下にある。

2. 日露和親条約においてロシア領と決められたが、日本は歴史的な経緯から返還を求めている。

3. 日本固有の領土であるが、第二次世界大戦終結直後から現在までロシアによって法的根拠なく占拠されている。

4. 北海道の根室半島から最も遠い位置にあるため、現在はロシアとの間で共同統治を行うことで合意している。

問10

札幌市の中心部で、道路が垂直・水平に交わり区画が整理された「格子状の街路」が採用された背景として、最も適切な説明はどれですか。

(2020年 島根県公立入試 類似)

1. 江戸時代の城下町の構造を引き継ぎ、敵の侵入を防ぐために見通しの良い道路を配置したため。

2. 自然発生的に形成された集落が、人口増加に伴って地形に合わせて四方に拡大していったため。

3. 明治政府の開拓使が、広大な土地を効率的に管理・開発するために計画的な都市建設を行ったため。

4. 広場を中心に道路が四方八方へ伸びる、中世ヨーロッパの都市計画をそのまま導入したため。

問11

明治時代に行われた北海道の開拓の背景と特徴について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。

(2021年 神奈川県公立入試 類似)

1. 九州地方の沿岸警備を目的として配置された防人が、大規模な志願制度によって北海道へ移された。

2. アイヌの人々の独自の文化や土地利用の権利を保護することを最優先に開発が進められた。

3. 政府は開拓使を設置し、屯田兵による北方の防衛と大規模な土地改良を並行して進めた。

4. 広大な森林を維持するため、農業は一切行わずに毛皮の採取と輸出のみを推奨した。

問12

地形図における縮尺の仕組みについて述べた文として、正しいものはどれか。なお、札幌市の北海道大学植物園から南東方向に位置する市役所（地点B）までの実際の距離を1km（1000m）とした場合を想定して答えなさい。

(2021年 茨城県公立入試 類似)

1. 2万5千分の1の地形図では、図上の長さは2cmになる。

2. 5万分の1の地形図では、図上の長さは4cmになる。

3. 2万5千分の1の地形図では、図上の長さは4cmになる。

4. 5万分の1の地形図では、図上の長さは5cmになる。

問13

夏の北海道の太平洋沿岸において、寒流の影響で湿った空気が冷やされることにより発生し、日照時間の減少や気温が上がりにくくなる原因となっている気象現象を何といいますか。

(2025年 群馬県公立入試 類似)

1. 線状降水帯

2. 濃霧

3. 季節風

4. やませ

答え合わせ・解説

問1	答え 1 屯田兵	明治時代、ロシアの南下政策を警戒して北方の防衛を強化する必要があったことから、兵士として訓練を受けながら農地の開拓を行う役割を担いました。当初は生活に困窮した士族が中心でしたが、のちに平民も加わり、家族とともに過酷な環境での開拓に従事しました。
問2	答え 4 主業農家	北海道の農業は、明治時代以降の開墾の歴史的背景から1戸あたりの経営耕地面積が非常に広いという特徴があります。生産性の高い大規模経営が行われているため、農業以外の収入に頼る必要が少なく、農業所得を主とする「主業農家」の割合が都府県に比べて圧倒的に高くなっています。これに対し、都府県では経営規模が小さいため、農業以外の収入を主とする兼業農家が多くなっています。
問3	答え 2 てんさい	北海道では、その広大な土地と涼しい気候を活かした大規模な農業が行われています。「てんさい（ビート）」は寒さに強い作物で、日本の生産量のほとんどが北海道で占められており、収穫後は製糖工場で砂糖に加工されます。同じ砂糖の原料である「さとうきび」は、沖縄県や鹿児島県の南西諸島など、暖かい地域で栽培される作物であるため、産地の違いを区別することが重要です。
問4	答え 3 明治時代以降、屯田兵が配置され、北方警備と並行して農地の開拓が行われた	北海道の内陸部にある旭川などは、明治時代に屯田兵村が設置されたことで本格的な開発が始まりました。屯田兵は平時は土地を耕して農業に従事し、有事の際には兵士として活動する役割を担っており、計画的な区画整理によって現在の都市の原型が作られました。
問5	答え 4 泥炭地	石狩川流域に広がる石狩平野の低地には、寒冷な気候により植物が完全に分解されず、炭化した状態で堆積した「泥炭地」が広く分布していました。この土地は非常に水はけが悪く、酸性度も高いため農業には不向きでしたが、明治時代以降、大規模な排水路の整備や、外部から良質な土を運び入れる「客土（きゃくど）」といった土地改良を行うことで、日本を代表する稲作地帯へと変貌を遂げました。
問6	答え 3 生産された生乳の多くをバターやチーズの原料とする「加工用」に回しており、広大な土地を活用した大規模な酪農が行われている。	北海道の酪農は、広大な土地と冷涼な気候を活かした大規模な経営が特徴です。生乳の総処理量は日本国内で圧倒的なシェアを占めていますが、その半分以上が「加工用」として処理されています。これは、大消費地から遠いという地理的制約を克服するために、バターやチーズなどの加工品に特化してきた歴史的な背景があります。
問7	答え 2 広大な土地と冷涼な気候を活かし、大規模な牧草地を確保して酪農などを行うのに適していたため。	北海道、特に根釧台地などの地域は、夏でも気温が上がりにくく霧が発生しやすい冷涼な気候であるため、伝統的な稲作には向きませんでした。一方で、その広大な土地を牧草地として活用することで、牛を飼育する酪農や肉用牛の生産といった「畜産」が発展しました。このように、地形や気候といった自然環境に合わせて、最も効率的な農業形態を選択した結果、大規模な畜産経営が確立されました。
問8	答え 2 かつての泥炭地を土地改良によって克服し、大規模な水田地帯となった。	石狩平野の最大の特徴は、泥炭地という厳しい自然条件を土地改良によって克服し、水田地帯へと発展させた歴史にあります。選択肢にある火山灰地での畑作は十勝平野、大規模な酪農は根釧台地、盆地での稲作は上川盆地などの特徴であり、それぞれの地域の土地条件と農業形態を関連付けて理解することが重要です。
問9	答え 3 日本固有の領土であるが、第二次世界大戦終結直後から現在までロシアによって法的根拠なく占拠されている。	1855年の日露和親条約において、国後島を含む北方四島は日本の領土として確認されました。それ以降、一度も外国の領土となったことがない「日本固有の領土」ですが、1945年の終戦直後に当時のソ連（現在のロシア）によって占拠されました。日本政府は、サンフランシスコ平和条約で放棄した「千島列島」には北方四島は含まれないという立場をとっており、ロシアに対して一括返還を求めています。
問10	答え 3 明治政府の開拓使が、広大な土地を効率的に管理・開発するために計画的な都市建設を行ったため。	札幌は1869年に設置された開拓使によって、何も無い原野から計画的に建設された人工的な都市です。アメリカの都市計画や京都の条坊制を参考に、行政機能や居住区を効率的に配置し、交通の利便性を高める目的で格子状の街路が導入されました。これは、古い歴史を持つ都市が地形や防御上の理由から不規則な街路を持つことが多いのと対照的です。
問11	答え 3 政府は開拓使を設置し、屯田兵による北方の防衛と大規模な土地改良を並行して進めた。	明治政府は、ロシアに対する防衛（国境の確定）と、資源の確保や失業した士族の救済を目的に北海道の開拓を急ぎました。開拓使が中心となって欧米の農業技術を導入し、屯田兵が厳しい自然環境の中で土地を切り拓いたことが、現在の北海道の農地基盤につながっています。
問12	答え 3 2万5千分の1の地形図では、図上の長さは4cmになる。	実際の距離が1km（100,000cm）の場合、2万5千分の1の地形図では、100,000を25,000で割った4cmとして表現される。一方で、5万分の1の地形図では、100,000を50,000で割った2cmとなる。縮尺の分母が大きくなるほど、同じ実際の距離は図上でより短く表示されるという因果関係を理解しておく必要がある。
問13	答え 2 濃霧	北から流れてくる寒流である千島海流（親潮）の上を、夏に南東から吹く暖かく湿った空気を通る際、海面付近で急激に冷やされることで水蒸気が水滴となり、霧が発生します。釧路市などの太平洋沿岸部では、この霧が太陽の光を遮るため、夏でも気温が上がりにくく、日照時間が短くなるという気候特性が見られます。